



6月26日(火)、午後の部(22名参加)、夜間の部(16名参加)の2部構成で、「柘植のみらいづくり塾」を開催しました。

この研修は、昨年の「みえのみらいづくり塾」で学んだことを活かして、各区の協力の下で実施しました。

今後、参加対象者を変え、第2弾第3弾を予定しています。

まずは、それぞれの区が
2025年問題に
向き合うために

柘植地域 まちづくりだより 第216号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

発行日 二〇一八(平成三十)年七月十五日(日)

〒五一九一四〇二
電話 四五・八八八〇 FAX 四五・八八八三

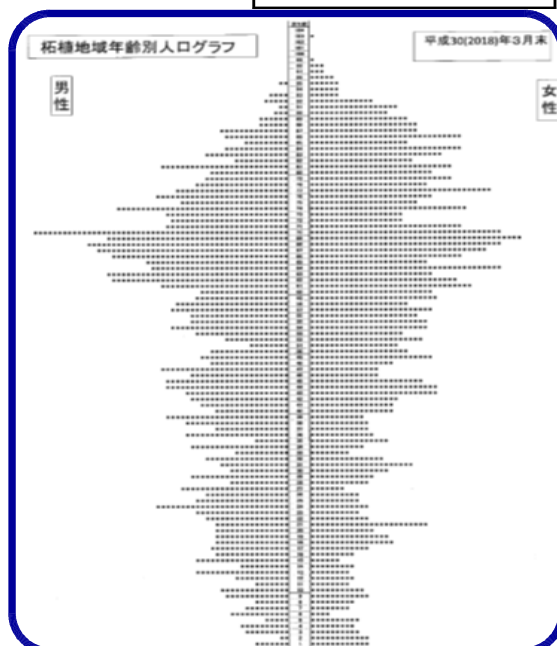
柘植地域俳句コーナー
鉄風鈴
揺らせる風が

頬撫づる
森下伸子

研修した内容は、次の通りです。

- ① 柘植地域の現状とまちづくりのありよう、伊賀流住民自治のしくみ
- ② 山出区の取り組みの紹介
- ③ 「えんたくん」を使った交流タイム

このグラフはまち協HPでご覧になれます。



① 研修した内容は、次の通りです。

① 柘植地域の現状とまちづくりのありよう、伊賀流住民自治のしくみ

② 山出区の取り組みの紹介

③ 「えんたくん」を使った交流タイム

① については、柘植地域や各区の人口推移、また現在の人口構成・男女比や高齢化の状況をグラフ(下図)をもとに研修しました。

また地域の課題解決のためには区をまたいだり協力し合ったりすることがいっそう必要な時代になっていることと、一人ひとりの住民や各区が柘植地域としての特性を理解し活かしていく必要があることなどをふまえ、合併時に制定された「自治基本条例」や「自治協議会の位置づけ」を改めて学習しました。



区長の中島さん(左)と亀井さん(右)

② については、山出区が向き合ってきた人口減少や世帯減少、具体的には現在4人に1人が75歳以上という状況の中で、伊賀市合併以前から区行政をどういうしくみでどのような経過により進めてきたか、細かいところまで中島区長さんらに説明していただきまし

プランや目標を立て、文章や図解にして区民が共有できるベースをつく



※右写真は「山出区のまちづくりプラン」表紙
③の「えんたくん」を使った交流タイムは、4〜5人による円卓会議(約30分)です。違う区の人と丸テーブルを囲み、軽い自己紹介の後、5年先10年先の後、区や柘植地域としていま着手していないかなければならないことを話し合っ
てもらいました。人口・世帯の減少を受けて、区のありよ

発表会は新しい時代を切り拓くきっかけにはなっていない。ではどうか。い



り、会議のルールや役員任期なども改善していくなどしながら、着々と行事を進められています。山出区民が一人となつていく様子が伝わってきました。また移住者やイベント等の参加者とともに区民が総出でいきいきと取り組まれている様子もよくわかりました。同じ柘植地域にいても、お互いの区内部のことはわからないものです。

を介の、5年先10年先を見、区や柘植地域としていま着手していないかなければならないことを話し合っ
てもらいました。人口・世帯の減少を受けて、区のありよ

場と時間を共有



語り合うことから、始めよう!!

うや組の合併、山林や農地などの問題、空き家対策、安全・防犯対策など抱えている課題を共有できました。4月の定期総会において提案したように、こうした研修の機会を増やしていくことから始めるしかありません。区を越えた柘植地域としての「なごま意識」を醸成し、区や柘植地域の住民自治活動をつくりだしていきたいと考えています。

まちづくりは区を越えて...

柘植小学校3年生が 市民センターを訪問、...まちづくりについて学ぶ!

6月28日(木)午前、柘植小学校3年生16名が地域学習ということで柘植地区市民センターを訪れ、センターの仕事やまちづくり協議会の活動について、学びました。

元気にはきはきと質問をしてくれました。



柘植地域全体で取り組もう



鳥獣害対策

生活環境部会

これまで、各区による取り組みが主でしたが、今後、鳥獣害対策は名実ともに区をまたいだ柘植地域一丸となった取り組みにしていく必要があります。



県立大学の山端さん、県林業研究所の福本さんといった専門家にお越しいただき、次の項目について詳しく学びたいことができました。

- ① 鳥獣保護管理法
- ② 柘植地域の獣害の概要とシカ対策事例の紹介
- ③ くくり罠の設置方法と森林のシカ被害対策



6月20日(水)午前開催した勉強会(参加者18名)では、市の農林振興課・鳥獣害係の大鷲さんをはじめ、三重県伊賀農林事務所の小倉主幹・水野課長や県農業研究所の鬼頭さん、兵庫



「くくり罠等による駆除」も含め総合的に進めていく予定です。(写真はくくり罠の設置の様子です。)

オリを小林区から山出区に移設しました



撤去し、このたび、山出区内の芭蕉公園付近に設置場所を変えることにしました。

効果を見ることが出来ます。



例年、各区単位に分けていた「追い払い」の対策も並行して行いながら、サルを「山」へ追いやる取り組みやシカ・シシヤの「くくり罠等による駆除」も進めていく予定です。

まちづくり研修

これまでとこれから

6月30日(土)午後、ゆめぼりセンターで、伊賀市自治研修会が開催され、役員4名が参加しました。「住民自治のしくみ…これまでとこれから」と題して、四日市大学学長の岩崎恭典教授が講演されました。「受益分配の時代」から「負担分担の時代」に入っている(4ページのグラフ参照)ことをふまえて、住民自治活動を作り出す必要があります。

講演内容

今後、本格化する人口減少と超高齢社会への備えとして、「応分の負担を分担する」ため、地域住民の主体形成が重視される自治が必要である。

自治会(区)がまだ元気な間に、まち協の存在意義を明確にし、「面識社会」をつくり直すことが必要である。

5年後、10年後の冷静な人口予測と、そこから生じる様々な地域課題を析出し、「誰が何をいつまでに」という主語付の計画で解決策を共有できるものにする努力が必要である。



さあ、改革! 『自ら』

男女共同社会づくり

いきいき未来いが2018へ参加

女性活動部会

6月30日(土)、あやま文化センターで、男女共同参画フォーラムが開催され、女性活動部会の研修事業として、まち協挙げて地域全体に参加を呼びかけ、10名あまりで参加し研修しました。

講演では、万協製薬株式会社(多気町)の松浦信男さんが「人を『人財』とする万協製薬の人材マネジメント」と題してお話しされました。



と題してお話しされました。



一意先進~Get a victory~



6月16日(土)午前、心配されていた天候も回復し、柘植中学校の体育祭が開催されました。今年度は、秋ではなくこの季節に変更となり、爽やかな風の中でハッスルしていました。



柘植中学校体育祭

1年生は中学生になって早2か月。先輩たちとともに、これから柘植中を盛り立てていくことでしょう。3年生は、最後の体育祭。最上級生として団結力を示してくれました。

★★★事務局だより★★★
▼6月行事の中でも小学3年生との交流は「未来を託す」という点で意義深いものでした。子どもたちが将来「柘植で育ってよかった」と思えるまちづくりを進めていきたいと思えます。(西田方計)

